

1階平面図・配置図 縮尺 1/200

2階平面図 縮尺 1/200

3階平面図 縮尺 1/200

令和元年 一級建築士試験「設計製図の試験」 答案用紙 I

隣地境界線

隣地境界線

道路境界線

歩道

隣地境界線  
公園



G.L.

東-西断面図 縮尺 1/200

(この方眼用紙の1目盛は、5mmです。)



面積表		(算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)																			
床面積	3階	(算定式)	建築面積												m <sup>2</sup>			受験番号			
	2階	(算定式)	建築面積												m <sup>2</sup>			試験場			
	1階	(算定式)	建築面積												m <sup>2</sup>			氏名			
床面積の合計																					
※右欄には記入しないで		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40

II. 3. 計画の要点等

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の(1)~(10)の要点等を具体的に記述する。  
 なお、要求図面では表せない計画についても記述する。また、(6)、(9)及び(10)については、【イメージ図記入欄】に、当該計画に対する考え方等をイラスト、システム図等により必ず示したうえで、当該要点等を記述する。

- (1) 講演等において、多目的ホールを多くの者が利用する場合があることを踏まえて、空間構成について考慮したこと


- (2) 外部空間と屋内空間とのつながりを踏まえて、公園、カフェ及びカフェテラスの三つの関係性について考慮したこと


- (3) 「分館出口前のオープンスペース」について、設計条件を踏まえて工夫したこと


- (4) 「市民アトリエ」及び「ショップ」のそれぞれの「室の設え」について、特記事項を踏まえて考慮したこと

市民アトリエ	
ショップ	

- (5) トップライトを設けた吹抜けを、自然換気に有効利用するために工夫したこと


- (6) 屋上庭園(出口・通路及び客土範囲)における断面の構造等計画(梁断面、スラブ位置・厚さを決定したときの考え方、バリアフリーの考え方及び防水の考え方)について考慮したこと

【イメージ図記入欄(必ず記入のこと)】	梁断面、スラブ位置・厚さ：
	バリアフリー：
	防水：

- (7) 設計条件(建築物の用途や規模等)を踏まえて、建築物の構造種別・架構形式・基礎形式・スパン割り等を決定するに当たり、耐震性と経済性について考慮したこと

耐震性	
経済性	

- (8) 多目的ホールの構造計画(柱、梁、床、天井、スパン等)について考慮したこと及び部材の断面寸法

部材の断面寸法(mm)	大 梁： ×	柱： ×
	小 梁： ×	壁： 床：

- (9) 公園の眺望(西面及び南面)や自然採光を確保しつつ、冷暖房時の負荷抑制を図るために、建築計画や設備計画において工夫したこと(Low-Eガラスによる工夫を除く。)

【イメージ図記入欄(必ず記入のこと)】	工夫したこと：

- (10) 多目的ホールの空調方式について、その方式及び冷暖房計画で考慮したこと

【イメージ図記入欄(必ず記入のこと)】	空調方式：
	冷暖房計画で考慮したこと：

試験場	受験番号	氏名
	□□ - □□□□□□	